



憲法25条を守り活かそう6・18学習交流集会

ウクライナ難民支援から学ぶ

コロナが改めて明らかにした社会保障制度の問題を交流

ウクライナ侵攻を理由に、現在日本では改憲・軍事増強の動きが加速しています。

軍事を増強するには、社会保障・社会福祉制度に必要な経費のさらなる削減が必要になります。結果として、こうした動きは、私たちの「平和的生存権」を脅かします。いのち・暮らし・人権を最優先する社会を実現するには、何が必要なのでしょうか。いっしょに考えましょう。参加費は無料です。ぜひご参加ください。



○ **日時：2022年6月18日(土) 13時～16時30分(予定)**

○ **会場：オンライン開催**

○ **参加費：無料（オンライン開催、YouTube 配信での視聴）**

<https://www.youtube.com/watch?v=aUgWlQxNxyY>



※集会資料は、中央社保協ホームページ、実行委員会ブログを参照ください。

6月10以降に貼り付け予定です。

※Zoom参加希望の方は、別途Googleフォームで申し込みください。

<https://forms.gle/GS83b8Lt7vx2QLZb7>



Zoom情報、資料データを配信します。

※会場(全水道会館)参加は、実行委員団体、事務局中心に首都圏の方に限ります。

※当日は、テキストデータの準備、手話通訳を行いません。」

○ **内容**

◆**講演「ウクライナに暮らす人たちの現状～難民支援から見てくること」**

講師：大室 和也（おおむろ かずや）氏（AAR Japan[難民を助ける会]）

※プロフィール：大学卒業後、理学療法士として働きながら大学院で介護予防を研究。その後病院勤務を経て、青年海外協力隊に参加し、ウズベキスタンの国立リハビリテーションセンターで患者へのリハビリや職員への指導を行う。

◆**意見交流「テーマ：コロナが改めて明らかにした社会保障制度の諸問題」**

①拡大する貧困の実態から ②支援を要する人たちを支える社会福祉事業の実態から

③いのち・暮らし・健康の実態から

◆**集会まとめ**

主催・憲法25条を守り、活かそう共同行動実行委員会

(事務局) きょうされん 福祉保育労 障全協 いのちのとりで裁判全国アクション 全生連 日本高齢期運動連絡会 中央社保協 ～連絡先 03-5808-5344 (中央社保協)